

臨床美術学会 第16回大会 2025

開催要項

大会テーマ

臨床美術が拓く個の魅力とソーシャルインクルージョン

2025年11月22日（土）・23日（日）



臨床美術学会

The Society for Clinical Art

臨床美術学会 第16回大会 2025

大会テーマ

臨床美術が拓く個の魅力とソーシャルインクルージョン

大会長 木戸 修

(彫刻家 臨床美術学会会長 日本臨床美術協会理事長 東京藝術大学名誉教授)

日時 11月22日(土) 12:30~17:10

※18:00~ 懇親会(オプション)

11月23日(日) 9:30~12:30

開催方法 対面/オンライン同時開催

※オンライン参加の方は一部プログラムが異なります

場所 東京藝術大学 上野キャンパス

主催 臨床美術学会

共催 日本臨床美術協会 / TOPPAN 芸造研株式会社

協賛 TOPPAN ホールディングス株式会社

大会長挨拶

木戸 修

(彫刻家 臨床美術学会長 日本臨床美術協会理事長 東京藝術大学名誉教授)

2009年に臨床美術学会が設立されてから16年が経過して今回が第16回大会となります。昨年度に引き続き今年度も対面とオンラインでの開催です。地球規模での気候変動や災害、経済活動の複雑化、政治情勢の変化など今日の私たちを取り巻く環境は必ずしも良いとは言えませんが、学会員の皆様の不断の努力の積み重ねによって今回の大会が開催できることを感謝したいと思います。継続は力なりという言葉を実感しています。今年度の大会テーマは「臨床美術が拓く個の魅力とソーシャルインクルージョン」です。「ソーシャルインクルージョン」とは年齢、性別、障害、国籍、宗教、経済状況など様々な背景をもつ人々が、誰もが社会の一員として尊重され地域社会の一員として共に生きていくという理念です。日本語では社会的包摂と言われています。大会テーマの言葉、「臨床美術が拓く個の魅力」の指し示す意味は、美術の表現活動は本来個々の感性の発露でありそれを妨げることなく自由に表現することが重要であり、臨床美術活動の手助けで魅力ある作品や、その人なりの感性の表出が実現できることを示しています。対面で個人と個人が向き合い個人を尊重する理念を大事にする臨床美術の考えがどの様に、ソーシャルインクルージョンという理念の実現に結びついていくのかを、様々な角度から検証することが今回の学会テーマになっています。

基調講演をお願いするのは、認知症を患った母親を通じて臨床美術に出会ったという、キャスター/ジャーナリストの安藤優子さんです。「ひとりでも多くの人に出会ってほしいメソッド、それが私にとっての『臨床美術』です」と語っています。大会シンポジウムでは「臨床美術が拓く個の魅力とソーシャルインクルージョン」をテーマとして、様々な分野で活動している方に参加していただきます。座長は保坂遊（東京家政大学教授 臨床美術学会副会長）、シンポジストに岡田猛（東京大学大学院名誉教授）、和田明人（東京家政大学教授 臨床美術学会理事）、高橋文子（TOPPAN 芸造研専任講師）の各氏です。ポスター発表展示では学会員の方々の日々の活発な活動の記録や提案などを見ることがとても楽しみです、展示資料は学会の重要な実例、実績でもあり、学会員同士の貴重な情報交換の場でもあります。

学会大会に多くの方が参加し、臨床美術の活動がより一層充実して世の中に貢献できることを願っています。

臨床美術学会 第16回大会 2025 ご案内

大会テーマ

臨床美術が拓く個の魅力とソーシャルインクルージョン

開催日程 2025年11月22日(土) 12:30~17:10
※18:00~ 懇親会(オプション)

11月23日(日) 9:30~12:30

※9:30~11:00 ポスターセッションのオンライン配信はありませんが、発表資料は大会期間中に参加者全員に共有いたします

大会長 木戸 修
(彫刻家 臨床美術学会長 日本臨床美術協会理事長 東京藝術大学名誉教授)

開催方法 対面/オンライン同時開催

場 所 東京藝術大学 上野キャンパス(東京都台東区上野公園12-8)

主 催 臨床美術学会

共 催 日本臨床美術協会 / TOPPAN 芸造研株式会社

協 賛 TOPPAN ホールディングス株式会社

会場へのアクセス

東京藝術大学
上野キャンパス
美術学部



<交通アクセス>

JR 上野駅（公園口）または鶯谷駅下車 徒歩 10 分
東京メトロ 銀座線・日比谷線 上野駅下車 徒歩 15 分
東京メトロ 千代田線 根津駅下車 徒歩 10 分
京成電鉄 京成上野駅下車 徒歩 15 分

上野キャンパス案内



⑦美術学部中央棟が会場となります。

11月22日（土）タイムテーブル

時 間	内 容
12：00～	受付
12：30～12：40	開会式
12：40～14：10	基調講演 講 師 安藤 優子 氏 (ジャーナリスト／キャスター)
14：10～14：30	休憩（20分）
14：30～17：00	大会シンポジウム 「臨床美術が拓く個の魅力とソーシャルインクルージョン」 座 長 保坂 遊 (東京家政大学 教授／ 臨床美術学会副学会長・日本臨床美術協会副理事長) シンポジスト 岡田 猛 (東京大学 大学院教育学研究科 名誉教授) 和田 明人 (東京家政大学教授／日本臨床美術協会・臨床美術学会理事) 高橋 文子 (臨床美術士／TOPPAN芸造研 専任講師／版画家)
17：00～17：10	事務連絡
17：10	終了
18：00～20：00	懇親会（オプション）

11月23日（日）タイムテーブル

時 間	内 容
9：30～11：00	研究発表（ポスターセッション形式） ※前半・後半 各45分 ※ポスターセッションのオンライン配信はありません
11：00～11：20	休憩（20分）
11：20～12：20	自主シンポジウム
12：20～12：30	閉会式

※プログラムは変更になる可能性がございます。

11月22日(土) 12:40~14:10

基調講演

講師 安藤 優子

(キャスター／ジャーナリスト)

基調講演にキャスター／ジャーナリストとしてご活躍の安藤優子さんをお迎えします。

ご講演では、大会テーマ「臨床美術が拓く個の魅力とソーシャルインクルージョン」に沿って、ご自身の経験から臨床美術の魅力と可能性についてお話しいたします。



<プロフィール>

キャスター、ジャーナリスト。

上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科にて社会学修士号および博士号を取得。

長年にわたりフジテレビ系報道番組のキャスターを務め、国内外の社会問題や人々の生活に深く切り込む取材を続けてきた。

自身の認知症を患う母親の介護経験を通じて、芸術療法である臨床美術と出会う。当初、絵を描くことに抵抗があった母親が、臨床美術士とのセッションを通じて徐々に心を開き、創作活動を通して「個の魅力」を再発見していく過程を間近で経験。母親が「よくできた」と自ら肯定する姿や、描かれた絵が周囲の人々との新たなコミュニケーションを生み出し、社会とのつながりを深める「ソーシャルインクルージョン」の可能性を肌で感じた。

この経験は、情報伝達のプロとしての視点に加え、介護当事者としての実感を伴いながら、臨床美術がもたらすQOL（生活の質）の向上や、人々の潜在的な力を引き出す可能性について深く考察する契機となる。

現在は、関西テレビ「news ランナー」などに出演する傍ら、椋山女学園大学客員教授として、自身の多様な経験を基にした教育・研究活動にも従事している。著書に『自民党の女性認識 「イエ中心主義」の政治指向』など。

11月22日(土) 14:30~17:00

大会シンポジウム

テーマ「臨床美術が拓く個の魅力とソーシャルインクルージョン」

座長 保坂 遊 (東京家政大学 教授)

臨床美術学会副学会長・日本臨床美術協会副理事長)

シンポジスト 岡田 猛 (東京大学 大学院教育学研究科 名誉教授)

和田 明人 (東京家政大学教授/日本臨床美術協会・臨床美術学会 理事)

高橋 文子 (臨床美術士/TOPPAN 芸造研 専任講師/版画家)

趣旨

座長 保坂 遊（東京家政大学）

私たちは、それぞれ「個」として存在しています。個は唯一無二であり、独立した分割できない存在です。現代哲学では、個は他者との関係性の中で形成されるもの、あるいは固定的ではなく現象として意味を構築していくものとしても捉えられています。一人ひとりが人生の時間軸の中で、それぞれの想いを具現化し、存在意義を輝かせていくことは、ウェルビーイングや幸福感の獲得に大きく関わるといえるでしょう。

一方、社会は共同体として、全体的・俯瞰的・システムの的に機能することで成立しています。しかし、その細部をミクロ的視点で見れば、やはり一人ひとりの「個」の集積にほかならず、個々の存在が自助的・相互的に作用し、関係性を築くことができなければ、社会は十分に機能し得ないでしょう。

現代社会は多様性の時代を迎えながらも、さまざまな課題を抱えています。これらの解決には、ソーシャルインクルージョンに基づく創造的・協働的な思考と実践が不可欠ではないでしょうか。そのためには、改めて「個」の存在に光をあて、一人ひとりが「自分らしく」生きる活動の場を創出し、「個と個」のリレーションシップを築くことが、社会の活性化へとつながるものと期待されます。

美術表現活動は、「個」の内省的感情と密接に関わる本質的な機能を有しています。作者が感じたもの、イメージしたものは、自由が保障された世界に属するものです。しかし、その創造のプロセスは、環界との関わりを持たずには成立しません。「感性とは、外界の刺激に対して能動的に関わるプロセス」そのものです。年齢や病気、障がいの有無を問わず、「個の能動性」を引き出す臨床美術のアートプログラムがその機能を発揮し、臨床美術士が包摂的な関わりによって個と個をつなぎ、認め合う場を創出する役割を十分に果たしたとき、それらは社会に広がり、新たなソーシャルインクルージョンの実現へと展開していくことでしょう。

本シンポジウムでは、こうした個の存在が保障され、発揮されるためのツールとして、臨床美術がどのような意義を持ち、そこから生まれた表現がどのように人々を触発し合い、エンパワーメントを生み、包摂的な社会形成の一役を担っていけるのか、その未来像を視座に据えてディスカッションを深めてまいります。

11月23日（日） 9：30～11：00（前半・後半 各45分）

研究発表（ポスターセッション形式）について

本大会では、本学会の趣旨に沿った臨床美術および周辺領域に関する内容（理論研究、実践研究、調査等）についての研究発表（対面）を一般募集します。

臨床美術学会設立以来、学会員や大会参加者も増加し、研究や実践フィールドも多岐に亘ってきています。本大会の研究発表はポスターセッション形式とし、より多くの学会員、参加者の研究発表・交流の場とします。

<対面参加者の方>

ポスターセッションとは、発表内容をポスターにまとめ、展示・発表する発表形式です。指定された時間の間、研究内容を発表し、座長や参加者と直接的な質疑応答を行い、学術的な見識を深めたり、問題を共有化したり、参加者間の研鑽の機会とします。

ポスターセッションには、以下のような利点があります。

- （1）展示期間中、参加者は自由にポスターを見ることができる。
- （2）参加者は、個々の関心に合わせて発表を自由に見て回ることができる。
- （3）ポスターを前に、発表者とギャラリーという少人数で直接、質疑応答ができる。

※ 今年度の研究発表へのエントリーは、対面参加の方に限らせていただきます。

<オンライン参加者の方>

発表者はオンライン参加者に向けて、ポスターセッション内容をデータとして共有していただきます。オンライン参加者には大会期間中に事務局からファイル共有サービスを通じて、発表内容（オンライン公開用ポスターデータ）をご案内します。

研究発表（ポスターセッション形式）の申込方法については、13 ページをご覧ください。

11月23日（日）11：20～12：20

自主シンポジウム

本大会では、学会員の皆様から広く自主シンポジウムの企画を募集します。

自主シンポジウムとは、学会員自らが自主的に、本学会の趣旨に沿った臨床美術に関わるテーマ、司会者、話題提供者、を設定し運営するシンポジウムです。

今大会の自主シンポジウムは、対面及びオンライン形式で実施され、11月23日（日）11：20～12：20の60分間の開催を予定しています。

ぜひ、学会員の皆様方が関心を持つテーマを設けて、参加者間のディスカッションを深めていただけるよう、ご応募いただければと思います。

自主シンポジウムは、司会や話題提供者がそれぞれ発題の内容をパワーポイント等のプレゼンテーションツール(動画含む)にまとめ、Zoomの画面共有にて発表していただきます。開催時間内の進行、話題提供、参加者と質疑応答等は、各企画者が自由にお決めください。また、自主シンポジウムの企画趣旨や話題提供内容は、研究発表概要へ掲載します。自主シンポジウムの申し込み方法については、18ページをご覧ください。

- ・自主シンポジウム申し込み題数により、分科会方式になる場合がございます
- ・また、本大会では会場の都合により題数を制限させていただきます。

11月22日（土）18：00～20：00

懇親会・情報交換会（オプション）

対面でご参加いただける方に限定されますが、参加者間の交流の場として下記の通り懇親会を開催いたします。大会参加申し込み時に、あわせてお申し込みください。多くの方のご参加をお待ちしています。

開催場所：東京藝術大学 学生食堂

申込方法：大会参加申込時に選択していただく形で受付いたします。

臨床美術学会 第16回大会2025 参加申し込みのご案内

1. 大会参加申し込み方法

(1) 大会参加費（税込）

申込区分	参加費（事前登録のみ）	参加費（学生）
臨床美術学会会員（対面）	11,000 円	3,300 円
非会員（対面）	13,200 円	
臨床美術学会会員（オンライン）	9,900 円	
非会員（オンライン）	11,000 円	

※1日のみご参加の場合でも、参加費は上記のとおりです。

※対面とオンラインそれぞれで参加される場合には、対面の金額が適用されますので、ご了承ください。

例) 学会員で1日目オンライン参加 2日目対面参加 → 11,000 円

※日本臨床美術協会と臨床美術学会の会員は異なります。日本臨床美術協会のみご所属の場合は、非会員の申込区分になります。

参加申し込みの際、臨床美術学会の会員登録の有無を今一度ご確認ください。

(2) 各種参加・申込費

- ・研究発表申込（研究発表資料製作費として）：2,200 円（税込）
- ・自主シンポジウム申込：（会員・非会員共通）：無料
- ・懇親会参加費（会員・非会員共通）：6,600 円（税込）

(3) 申し込み方法

事前参加登録は、研究発表、自主シンポジウム、懇親会も含め全てオンラインで受付いたします。

臨床美術学会ホームページ「学術大会・イベント情報」ページ内にある参加登録ページにアクセスし、登録画面の必要事項をご記入の上、ご登録ください。

後日、事務局より「参加登録受付」メールを返信いたします。

※メールが届かない場合は、お手数ですが事務局までお問い合わせください。

事前参加登録申込締切：2025年11月4日（火）

注）本大会では、当日参加受付は行いません。

参加をご希望の方は、必ず期限までに事前参加登録をお願いいたします。

(4) お支払方法

参加登録申込後、ご登録いただきました E-mail アドレスに「参加登録受付メール」が届きます。お支払内容・振込先等をご案内しておりますので、ご確認ください。

各種参加費入金締切：2025 年 11 月 11 日（火）

(5) 参加申し込み内容の変更・キャンセルについて

大会参加費・研究発表参加費（研究発表資料製作費）は返金いたしませんので、予めご了承くださいませようお願いいたします。

また、事前参加登録申込後、各種参加費入金締切日までにお支払いがない場合は、キャンセル扱いとなりますので、あらかじめご了承ください。

(6) Zoom の招待 URL および研究発表概要送付について

入金締切後、ご入金を確認できたオンライン参加をお申込みの方に資料および Zoom 招待 URL をメールにて配信いたします。

メール配信日：11 月 14 日（金）

(7) オンラインでの参加方法について

- ・有線 LAN または Wi-Fi などインターネット接続環境が必要です。
- ・パソコンまたはタブレットなどの機器をご準備ください。
- ・事前に Zoom アプリをパソコンまたはタブレットにインストールしてください。

2. 研究発表（ポスターセッション形式）申し込み方法

(1) お申し込み方法

研究発表申込は大会参加申込時にご選択して頂く形で受付いたします。登録画面の参加オプション「研究発表演題要旨」をご記入の上、登録してください。ご登録いただきました E-mail アドレスにメールが届きます。メールの到着をご確認の上、未着の場合は事務局までお問い合わせください。

研究発表申込締切：2025 年 9 月 30 日（火）

(2) 発表受理確認

お申し込みいただいた発表内容は、大会本部にて確認させていただきます。「発表受

理」となりましたら、筆頭著者の E-mail アドレスに発表受理のメールを事務局より順次送付いたします。発表受理の E-mail が未着の際は事務局までお問い合わせください。

≪研究発表（ポスターセッション形式）の申し込みから発表までの流れ≫

●ポスターセッションとは

発表内容をポスターにまとめ、展示・発表する発表形式です。

(1) 発表資格要件

発表代表者は、原則として以下のいずれかに該当する者とします。

- ①臨床美術学会会員
- ②日本臨床美術協会会員
- ③その他、臨床美術実践者等

*②、③の方が発表代表者となる場合は、必ず本学会会員が連名発表者で加わることが条件となります。

(2) 発表に関する制限

発表代表者となる場合、1人1発表に限ります。

連名発表者となる場合は、複数の発表でも構いません。

発表する研究は未発表のものに限ります。

(3) 研究発表申込とその受理

研究発表で発表する代表者は、指定された期日までに「大会事前参加登録申込」「研究発表申込」「大会参加費および研究発表参加費の納入」を行なってください。なお、前述のいずれかに遅れや不備等があった場合、研究発表申込が受理されないことがあります。

(4) 各種準備・提出物の作成

研究発表が受理された後、下記作成・提出物を各期日までにご準備ください。

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| ① 研究発表概要原稿 | 2025年10月19日(日) |
| ② オンライン公開用ポスターデータ | 2025年11月9日(日) |
| ③ 掲示用ポスターデータ | 2025年11月23日(日) 大会当日持参 |

(5) 研究発表方法

- ①大会当日、研究発表代表者は、指定時間までに受付をお済ませください。
- ②受付を済ませた後、開始時刻までに大会スタッフの指示に従って、会場の指定されたパネルへポスターを掲示してください。
- ③発表代表者は、指定された時間に、自分のポスター掲示場所に必ず待機し、座長並びに参加者の質問に答えながら討議をすすめてください。

本大会では、発表番号が奇数の発表者と偶数の発表者で 45 分ずつの入れ替わり形式とします。

A. 発表番号奇数の発表者（発表説明責任時間は 9:30～10:15 の 45 分間）

B. 発表番号偶数の発表者（発表説明責任時間は 10:15～11:00 の 45 分間）

- ④原則として、連名発表者全員も指定された時間に待機し、討議に参加するようにしてください。
- ⑤ 終了時間（11:00）となりましたら、発表者は速やかにポスターを撤去してください。

※研究発表（ポスターセッション形式）の正式認定について

研究発表は、「①研究発表概要への原稿の掲載」、「②ポスターでの発表」、「③質疑応答への参加」の3条件を満たすことで正式発表と認められます。そのため、発表代表者は「発表説明責任時間」の間、必ず自分のポスター掲示場所に在席していなければならない、かつ、ポスターは所定の時間、掲示されなければなりません。発表代表者が「発表説明責任時間」に不在の場合など（遅刻等を含む）は、発表が取り消されることがあります。また、「発表説明責任時間」の変更はできません。

(6) 各種データの作成について

① 研究発表概要原稿

発表代表者は、指定された期日（10月19日）までに研究発表論文概要の原稿を提出してください。

発表論文原稿は下記 E-mail アドレスに Word および PDF 形式のファイルを添付しお送りください。研究発表概要に関しては、誤字・脱字・変換ミスを含め、原則として事務局では校正・訂正を行いません。そのまま印刷されますので、送信者の責任において確認してください。

また、送付締切り後の原稿の変更は一切できません。重要事項の記載漏れのないよう十分ご確認ください。

原稿の作成及び送付方法については、21 ページからの「**研究発表概要・自主シンポ**

ジウム原稿作成／送付要領」に従ってください。

受付 E-mail アドレス：gakkai@arttherapy.gr.jp

研究発表論文集原稿送付締切：2025 年 10 月 19 日（日）（必着）

② オンライン公開用発表データ

大会当日に掲示するポスターの内容をまとめた PDF データを下記 E-mail アドレスに添付しお送りください。

原稿の作成及び送付方法については、24 ページの「**2. オンライン公開用発表データの作成について**」に従ってください。

受付 E-mail アドレス：gakkai@arttherapy.gr.jp

オンライン公開用発表データ送付締切：2025 年 11 月 9 日（日）

③ 掲示用ポスター

大会当日に掲示用ポスターをご持参ください。（11 月 22 日から掲示可能です）

掲示場所、時間等の詳細は、対象の方に別途おしらせいたします。

ポスターの形については、縦 1800mm×900mm 以内の範囲内であれば、自由な形で作成可とします。掲示スペースに収まる程度の大きさであれば、文章・グラフ・写真・絵などを使用して自由にレイアウトを行えます。ただし、パネルの下部まで最大限に使用すると、発表時などに閲覧しにくくなることを考慮してください。なお、会場には、ポスター掲示に必要な画鋏などを用意いたしますが、予備の模造紙等は用意しておりません。

ポスター作成の詳細については、24 ページの「**3. ポスター作成について**」に従ってください。

(7) 研究発表申込から発表（ポスターセッション）までの流れ

研究発表申し込み締切：2025年9月30日（火）
↓
研究発表論文集原稿送付締切：2025年10月19日（日）（必着）
↓
オンライン公開用ポスターデータ送付締切：2025年11月9日（日）
↓
各種参加費入金締切：2025年11月11日（火）
↓
オンライン公開用ポスターデータ公開：2025年11月22日（土）
発表当日：2025年11月23日（日）
9：00～9：30 会場にて発表受付・ポスター掲示
9：30～10：15 ポスターセッション（前半45分）
参加者への説明、質疑応答
10：15～11：00 ポスターセッション（後半45分）
参加者への説明、質疑応答

4. 自主シンポジウム申し込み方法

(1) 申し込み方法

自主シンポジウム申込は、大会参加申込時に選択して頂く形で受付いたします。登録画面の参加オプション「自主シンポジウムタイトル・要旨・企画者・司会者・登壇者」をご記入の上、登録してください。

- ・自主シンポジウム企画を申し込まれる場合は、企画者がお申し込みください。

自主シンポジウム申込締切：2025年9月30日（火）

(2) 自主シンポジウム受理確認

お申し込みいただいた発表内容は、大会本部にて確認させていただきます。「発表受理」となりましたら、筆頭著者の E-mail アドレスに発表受理のメールを事務局より順次送付いたします。発表受理の E-mail が未着の際は事務局までお問い合わせください。
なお、本大会では会場の都合により、発表題数を制限させていただきます。

《自主シンポジウムの申し込みから発表までの流れ》

●自主シンポジウムとは

企画者またはそのグループによって、申込者自らがシンポジウムのテーマを設定し、司会者、登壇者、運営方法の一切を自由に企画し、開催する自主シンポジウムです。
司会者や話題提供者は発表内容をパワーポイントなどのプレゼンテーションツール（動画含む）にまとめ、資料を提示しながら、話題提供やディスカッション、参加者からの質疑応答を行うなど、指定された時間内で自由に進行していただきます。

(1) 自主シンポジウム資格要件

企画者は、原則として以下のいずれかに該当する者とします。

- ・臨床美術学会会員

司会者（企画者と異なる場合）、話題提供者などの登壇者

- ① 臨床美術学会会員
- ② 日本臨床美術協会会員
- ③ その他、臨床美術実践者等

(2) 自主シンポジウムに関する制限

1 人の企画者（またはそのグループ）として応募できるシンポジウムは、1 件に限ります。

話題提供者となる場合は、応募が重複しても構いません。

(3) 自主シンポジウム申込とその受理

企画者は、指定された期日までに「大会事前参加登録申込」「自主シンポジウム申込」「大会参加費の納入」を行なってください。なお、前述のいずれかに遅れや不備等があった場合、自主シンポジウム申込が受理されないことがあります。

(4) 研究発表概要原稿

発表代表者は、指定された期日（10 月 19 日）までに自主シンポジウムの原稿を提出してください。

自主シンポジウム趣旨・話題提供等の原稿は、**登壇者すべての原稿を企画者が取りまとめ**、下記 E-mail アドレスに Word 形式のファイルを添付してお送りください。原稿内容に関しては、誌面上のレイアウト調整以外の誤字・脱字・変換ミスを含め、原則として事務局では校正・訂正を行いませんので、送信者の責任において確認してください。また、送付締切り後の原稿の変更は一切できません。重要事項の記載漏れのないよう、十分ご確認ください。

原稿の作成及び送付方法については、26 ページからの「**自主シンポジウム 原稿作成／送付要領**」に従ってください。

受付 E-mail アドレス：gakkai@arttherapy.gr.jp

自主シンポジウム原稿 送付締切：2025 年 10 月 19 日（日）（必着）

(5) 発表データ作成について

大会当日の自主シンポジウム発表データは、「研究発表論文・自主シンポジウム原稿作成／送付要領」の内容に照らし合わせて、パワーポイントほか類似するプレゼンテーションツールで作成してください。映像、動画なども用いて構いません。参加者へ内容がよ

り伝わるよう創意工夫をしてください。

自主シンポジウムは登壇者自身で PC 等进行操作していただきます。

(6) 自主シンポジウムの開催方法

本大会では自主シンポジウムの企画者は原則対面参加とします。

大会当日、企画者、司会者、登壇者は、指定された開催時間に事務局の指示に従い、Zoomにて画面共有を使用して、対面及びオンラインで開催してください。シンポジウム開催の持ち時間は1題につき、60分となります（自主シンポジウム開催責任時間）。

開催方法の詳細は申込受理後、追ってご連絡いたします。

自主シンポジウム申し込み題数により、分科会方式になる場合がございます

また、本大会では会場の都合により題数を制限させていただきます。

(7) 自主シンポジウム申込から開催までの流れ

自主シンポジウム申し込み締切：9月30日（火）
↓
自主シンポジウム受理確認 メール発信：随時
↓
自主シンポジウム原稿送付締切：10月19日（日）（必着） 企画者が全ての登壇者の原稿を取りまとめ、提出してください。
↓
各種参加費納入締切：11月11日（火）
↓
臨床美術学会 第16回大会2025 自主シンポジウム 11月23日（日） 11：20～12：20

研究発表概要原稿／送付要領・ポスター作成要領

1. 研究発表概要原稿について

研究発表概要原稿は、Word 等の文書作成ソフトで作成(A4、1枚に印刷されることを想定して作成)し、PDF ファイル形式にて、学会事務局アドレス(gakkai@arttherapy.gr.jp)までお送りください。

ご希望の方には、基本レイアウトに沿ったフォーマットデータをお送りします。研究発表論概要原稿を送信する際には、PDF ファイル形式で作成しお送りください。論文は、送信された PDF ファイルをそのまま使用して作成します。原稿ファイルを送信する前に必ず印刷をおこない、文字化けや文字つぶれ等がないことをご確認ください。なお、登録した原稿を修正(差し替えを含む)することは一切できませんので、ご注意ください。原稿全般に関してご不明な点があれば、学会事務局アドレス(gakkai@arttherapy.gr.jp)までご連絡下さい。

(1) 用紙

- ・1題の研究発表につき、A4 サイズ 1 ページに限る。
(必ず 1 ページに収めてください)
- ・横書きとして、背景は無地とする。
- ・上下左右各 20mm の余白をとる。

(2) 原稿の作成

- ・ページ上部に、発表タイトル(副題)・発表者氏名(所属)を大きく示す。
- ・発表タイトルと発表者氏名(所属)の下からは2段組で本文を書く。
- ・図表は本文内に掲載し、図表が要旨集原稿の40%以下になるようにする。

(3) 「発表タイトル・発表者氏名(所属)」について

A.発表タイトル

- ・ゴシック系フォント・中央揃え・要旨集原稿の中で、最も大きいフォントサイズ(12～14pt)とする。
- ・発表申込み時の研究発表タイトル(発表タイトルにはサブタイトルも含む)を記載する。
- ・サブタイトルは原則として改行して記載しフォントサイズは発表タイトルのサイズより小さくする。

B.発表者氏名(所属)

- ・明朝系フォント・中央揃え・フォントサイズ(12pt)とする。
- ・連名発表者がいる場合、筆頭発表者の氏名の前に○印をつける。
- ・所属は氏名に続けてカッコ内に記載する。

(4) 本文について

- ・発表タイトル・発表者氏名(所属)下を1行あけ2段組で作成する。段組の間隔は約2文字分あける。
- ・明朝系フォント・左揃え・フォントサイズ(10~10.5pt)とする。
- ・見出しをゴシックや太字にするなどして読みやすくする。

(5) 図表について

- ・図表にはタイトルをつける。複数の場合は通し番号をつける。
- ・本文中の図表数に制限はない。ただし要旨集原稿に占める図表の面積は40%以下とする。
- ・印刷した際に見やすいものとする。

(6) 書式

- ・書式については作成要領を守っていることを前提として、細部については発表者の判断に任せる。ただし、読みやすさを最優先して作成すること。

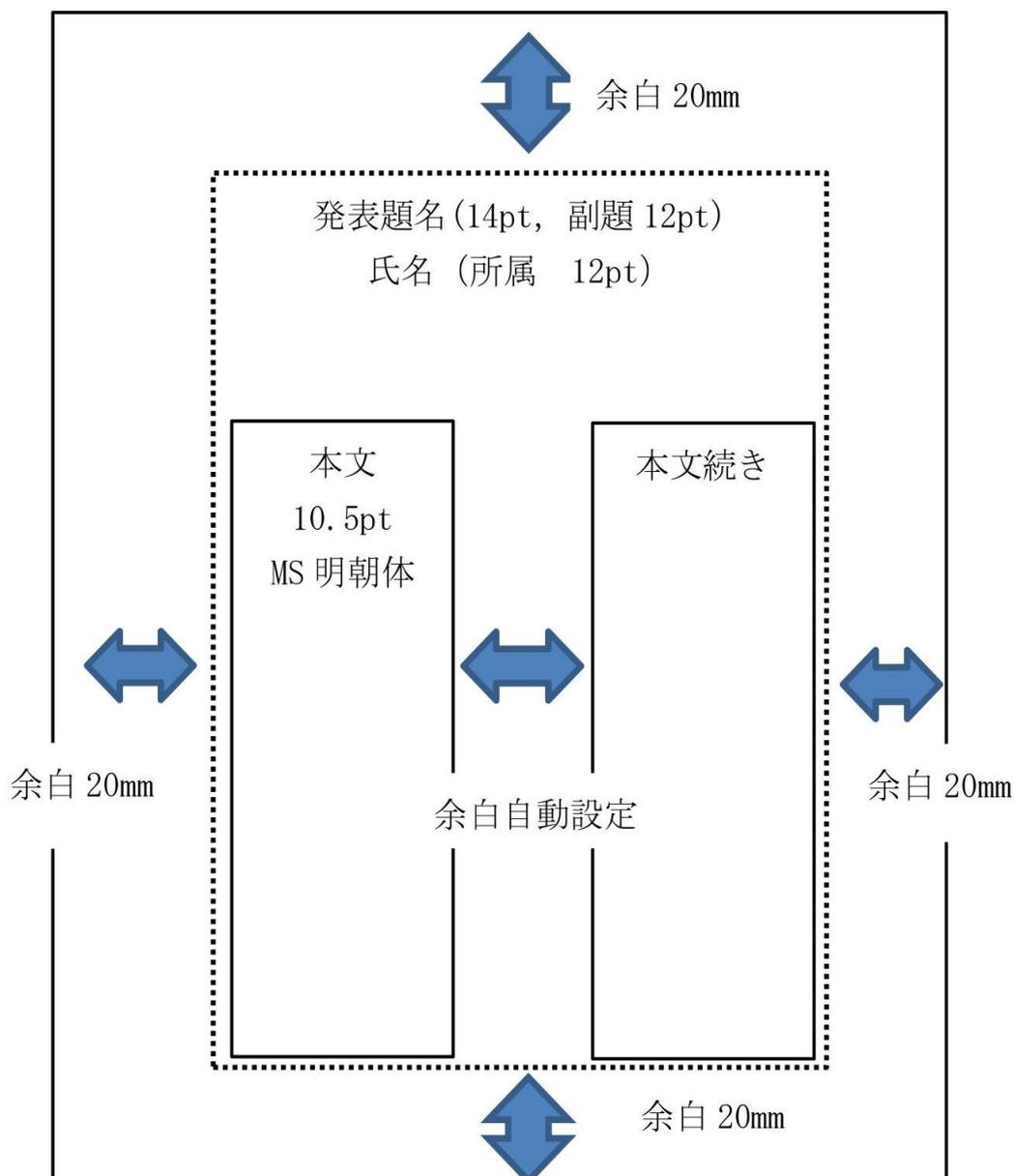
(7) その他

- ・原稿は所属先の研究倫理規定・倫理指針等に従い作成すること。
特に次の3点には注意すること。
 - 1 研究協力者がいる場合、事前に発表の承諾を取ること。
 - 2 研究協力者の人権に十分配慮していること。
 - 3 他の研究者などの文献から引用がある場合は出典を明記すること。
- ・原稿作成時、特に写真を用いる等の場合は、個人情報やプライバシーの保護に努め、
予め発表について対象者の了承を得るか、個人が特定できないように表現には十分留意
すること。

研究発表概要 原稿作成レイアウト

下記の図に従って作成してください。規定外の原稿は受理できませんのでご了承ください。また、送付された原稿はそのまま印刷しますので、一度提出された原稿の修正、取り下げ及び返却はできませんので、提出の際は十分ご注意ください。

原稿作成レイアウト【図】 A4 1 ページ



2. オンライン公開用発表データの作成について

オンライン参加者に向けて、ポスターセッション内容をデータとして共有いたしますので、オンライン公開用の発表データについて以下を参考に作成してください。

- (1) オンライン公開用発表データは、ポスター発表データ（当日用）を pdf データにするか、同等の内容をパワーポイント、ワード等で制作したものを、pdf データにして提出してください。
- (2) データの枚数等に制限はありませんが、総データサイズは 50MB 以下としてください。提出方法については申込受理後、事務局より連絡いたします。
- (3) 大会参加者へは pdf データとして閲覧のみの公開とします。（ダウンロード不可）今大会では、動画データでの公開は不可とします。
- (4) 公開は、大会参加者のみに限定されますが、発表で取り扱う個人情報・著作権の取り扱いについては、発表者が責任を持って十分な倫理的配慮に努めてください。

3. ポスター作成について

研究発表（ポスターセッション形式）は、研究発表論文の要旨に沿った内容とし、発表者は当日掲示するポスターについて以下を参考に作成してください。

- (1) サイズ縦 1800mm×横 900mm 以内
- (2) タイトルは太く、大きな文字で記載。必ず発表者名（所属）を記載。共同研究など連名発表者がいる場合は、筆頭発表者氏名の前に○印を付ける。
- (3) 文字、フォントは見やすいものであればよく、発表者の自由とするが、1 文字は 1 センチ以上の大きさを推奨する。色を付ける、強調する、太字などを活用し視覚的效果を図る。
- (4) レイアウト、文字、図表の工夫した配置を意識する。
- (5) 簡潔に表現する。（限られたスペース内におさめ、発表者がいなくても見ればわかるように）

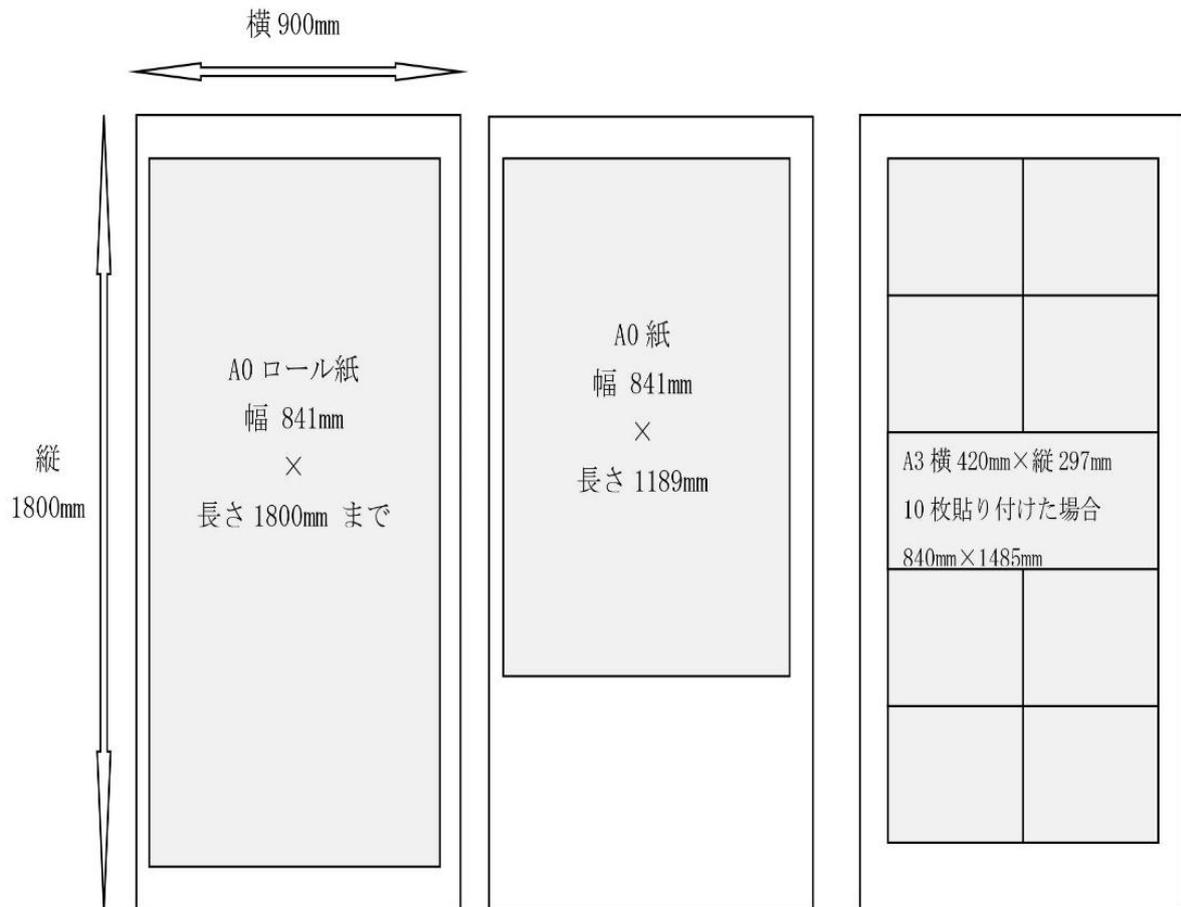
ポスター作成例

大判印刷
A0 ロール紙に印刷

大判印刷
(A0 紙に印刷)

A3 用紙に印刷

ポスター貼り付け可能サイズ



自主シンポジウム 原稿作成／送付要領

自主シンポジウムの趣旨および話題提供等の原稿は、Word の文書作成ソフトで作成(A4印刷されることを想定して作成)し、学会事務局アドレス(gakkai@arttherapy.gr.jp)までお送りください。

ご希望の方には、基本レイアウトに沿ったフォーマットデータをお送りします。

原稿を送信する際には、**各自主シンポジウムの企画者が、すべての登壇者の原稿を取りまとめた上、お送りください。**

原稿内容に関しては、誌面上のレイアウト調整以外の誤字・脱字・変換ミスを含め、原則として事務局では校正・訂正を行いませんので、送信者の責任において確認してください。

また、送付締切り後の原稿の変更は一切できません。重要事項の記載漏れのないよう、十分ご確認ください。

原稿全般に関してご不明な点があれば、学会事務局アドレス(gakkai@arttherapy.gr.jp)までご連絡下さい。

(1) 用紙

- ・1件の自主シンポジウムにつき、趣旨、話題提供を含めて A4 サイズ総数 5 ページ以内に限る。
- ・横書きとして、背景は無地とする。
- ・上下左右各 20mm の余白をとる。

(2) 原稿の作成

- ・ページ上部に、シンポジウムテーマ（副題）・企画者・司会者・登壇者氏名（所属）を大きく示す。
- ・テーマと登壇者氏名（所属）の下からは 1 段組で本文を書く。

(3) 「シンポジウムテーマ・登壇者氏名(所属)」について

A. テーマ

- ・ゴシック系フォント・中央揃え・要旨集原稿の中で、最も大きいフォントサイズ(12～14pt)とする。
- ・申込み時のシンポジウムテーマを記載する。
- ・サブタイトルがある場合は、原則として改行して記載しフォントサイズはテーマのサ

イズより小さくする。

B.企画者・司会者・発表者氏名(所属)

- ・企画者と司会者が同一の場合は、「企画者・司会者」と記す)
- ・明朝系フォント・中央揃え・フォントサイズ(12pt)とする。
- ・所属は氏名に続けてカッコ内に記載する。

(4) 本文について

- ・1 ページ目には企画者がシンポジウムの趣旨を記載する。
- ・以後、ページごとに登壇者の話題提供概要をまとめ、ページ上部に登壇者（執筆者）の氏名（所属）を記載する。
- ・図表は本文内に掲載し、原稿の40%以下になるようにする。
- ・明朝系フォント・左揃え・フォントサイズ(10~10.5pt)とする。
- ・見出しをゴシックや太字にするなどして読みやすくする。

(5) 図表について

- ・図表にはタイトルをつける。複数の場合は通し番号をつける。
- ・本文中の図表数に制限はない。ただし要旨集原稿に占める図表の面積は40%以下とする。
- ・印刷した際に見やすいものとする。

(6) 書式

- ・書式については作成要領を守っていることを前提として、細部については発表者の判断に任せる。ただし、読みやすさを最優先して作成すること。

(7) その他

- ・原稿は所属先の研究倫理規定・倫理指針等に従い作成すること。

特に次の3点には注意すること。

- 1 研究協力者がいる場合、事前に発表の承諾を取ること。
- 2 研究協力者の人権に十分配慮していること。
- 3 他の研究者などの文献から引用がある場合は出典を明記すること。

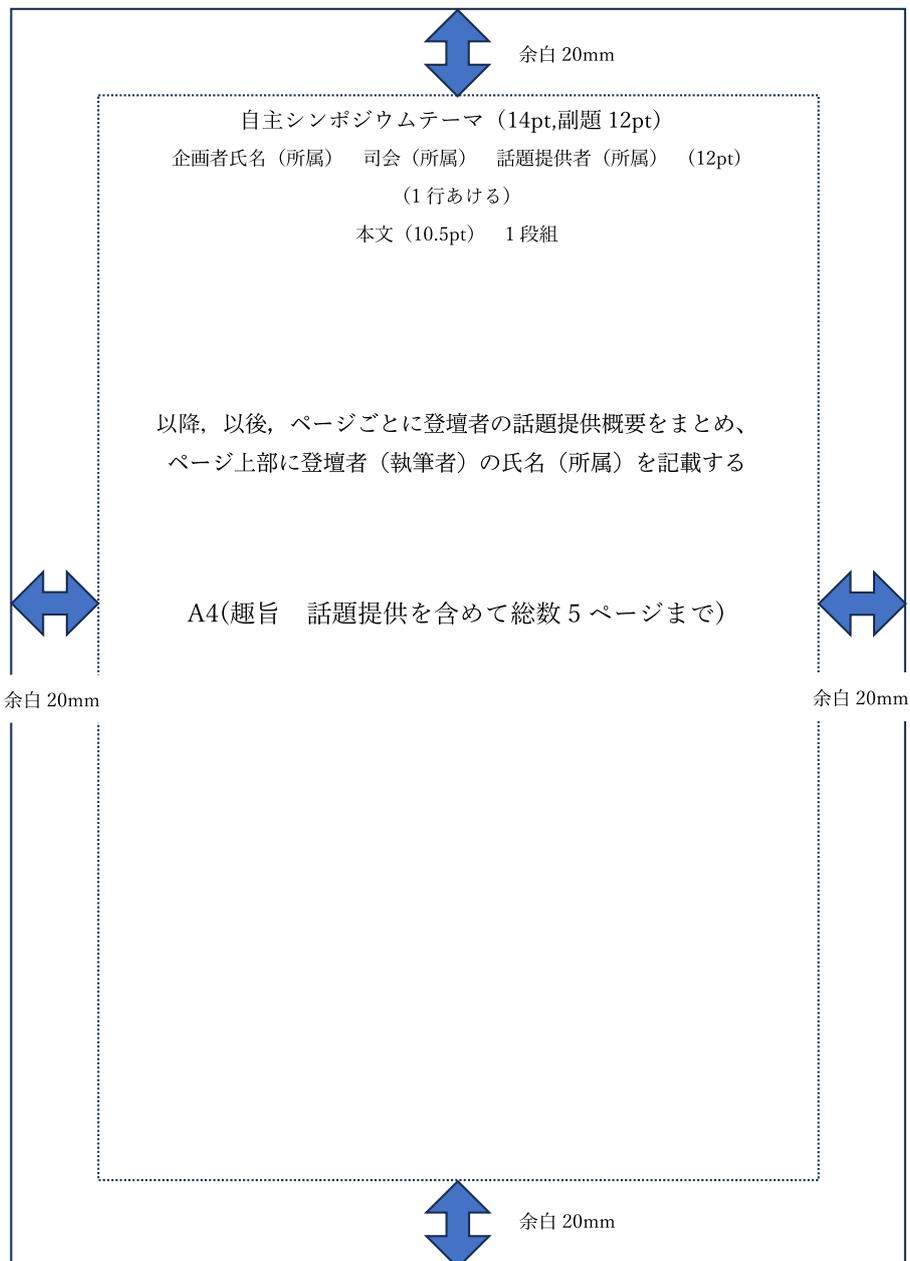
- ・原稿作成時、特に写真を用いる等の場合は、個人情報やプライバシーの保護に努め、予め発表について対象者の了承を得るか、個人が特定できないように表現には十分留意すること。

自主シンポジウム 原稿作成レイアウト

下記の図に従って作成してください。規定外の原稿は受理できませんのでご了承ください。また、一度提出された原稿の修正、取り下げ及び返却はできませんので、提出の際は十分ご注意ください。

自主シンポジウム 原稿レイアウト【図】

A4(趣旨 話題提供を含めて総数 5 ページまで)



【 お問い合わせ先 】

臨床美術学会事務局

〒251-0047 神奈川県藤沢市辻堂 1-9-3

Shonan Eminence 3F

電話番号：050-6861-7227

FAX 番号：050-3537-8633

E メール：gakkai@arttherapy.gr.jp